

4-3. 大学院医療保健学研究科（博士課程）における学生の受け入れ

目標

感染制御学の研究教授を通して、創造的問題解決能力を有する高度専門職業人を育成することを旨とする。

「現状及び点検・評価」

(1) 学生受け入れ方策

入学者は、原則として最低5年以上の医療関係機関等の現場における実践経験がある社会人とし、本大学院において修士課程を修了した者と同等以上の学力があると認められた者を受け入れることとしている。

① 学生募集の組織

○入学者選抜に当たっては、大学院入試事務室が大学院における入学者選抜試験の運営を担当している。また、入試面接者は研究科長会議で選任している。

○学生募集の担当組織は、大学院入試事務室が担当し広報媒体企画の選別を行っており、研究テーマの事前相談などについては、各コースの教員との連携を図り、入試個別相談会を実施し対応している。

○入試個別相談会等の実施状況は次のとおりである。

・入試個別相談会

12月に1回実施。

・その他学生の希望日に合わせた教員個別相談

1月に2回実施。

・平成21年度（平成22年度生募集）は、8月に2回、1月に1回実施予定。その他学生の希望日に合わせた教員個別相談は随時実施の予定。

○入学試験

博士課程は、春季入試（2月）を実施。

② 学生募集方法

○本学の学生募集活動は、広報媒体と大学院資料請求者（ホームページ、メールなどによる資料請求）への入試情報提供などにより実施している。

○博士課程（感染制御学）は平成21年度に初めて設置したが、学生募集の広報を積極的に行ったことにより、入学定員4名を充足し、4名の院生を確保したところであり、今後も機会を捉えて広報活動を行い、学生確保に努めることとする。

(2) 入学者選抜方法等

① 本研究科のアドミッション・ポリシーに基づいて、選抜の方針を明確に定め実施している。入試は、専任教員と事務職員でそれぞれ役割を定め、入試業務が厳正な環境で安全に実施できるように努めている。

② 入学者選抜方法

博士課程は、学力試験（英語の辞書・電子辞書持込可）、論文、面接及び書類審査によ

り、大学院進学の目的と研究計画並びに人物等について、多面的かつ総合的に審査・評価を行っている。

- ③ 評価方法は、採点項目を学力試験、自己推薦書・研究計画書・業績調書の提出書類（以下自己推薦書等と言う）、論文及び面接とし、それぞれの配点の合計評価点を参考として総合的に評価する。
- ④ 採点者及び採点方法は、4名（うち1名は学長）が自己推薦書等と面接の採点者となる。面接者1名が自己推薦書等と面接でそれぞれ評価点をつけ、面接者4名の合計を受験生の評価点としている。
- ⑤ 以上のことから、入学者選抜については厳正かつ公正に運営されていると評価することができる。

「今後の改善・改革に向けた方策」

- ① 学生募集に当たっては、引き続き広報活動の充実に努めるとともに、社会の要請及び時代の変化に機敏に対応して工夫を行うなど、今後も入学定員の確保に努める必要がある。
- ② 博士課程（感染制御学）においては、今後、本学が感染制御学の分野において人材育成に関する先端的な役割を果たすことが期待される。